

かかわる ● 運営に参画する

学校運営協議会

基本方針の承認と学校のPDCAにかかわる評価

学校運営協議会は、「学校運営の基本方針を承認する役割」を担っています。日頃から学校運営の状況に目を向けて熟議を行い、学校運営協議会で意見を述べるとともに、次年度の運営に役立てるため学校のPDCAに係わる評価(学校関係者評価)を実施します。



校長(学校)	協議会(委員)
学校運営の基本方針 (目標及び具体方策)	承認
具体的な取組・評価	取組状況の観察等
自己評価(達成状況)	学校関係者評価と意見
評価に基づく改善策	意見

ささえる ● 学校の活動を支える

地域学校協働活動

広がる学校支援 教師が子供と向き合う時間の確保や効率的な教育活動が進められます。

ミシンを使う家庭科支援	生活科児童見守り	着衣泳の指導	消毒等ボランティア
放課後の学習支援	校庭整備(スポ少の協力)	通学路点検(地域とPTA)	プール清掃への協力

つながる ● 地域とつながる

地域学校協働活動

地域の活動への参加 子供(学校)が核となり、新たなネットワークが形成されます。

地域のまつりに参加	地域の活動に参加	防災訓練に参加
-----------	----------	---------

学校運営協議会の意見により実施・活性化された事例

志教育 俊斎プロ ジェクト



郷土の偉人初代東京大学医学部長の「大槻俊斎」の功績をたどり、子供たちのキャリア教育に役立てるプロジェクトが進んでいます。

志教育 ジョブ カフェ



数多くの職業人に直接話を聞くことで、あこがれを持つことや職業観を育てるプロジェクトは文部大臣表彰を受けました。

環境教育 リサイクル 活動



市内の中学校では、地域の協力を得て再生可能な資材を集め、部活動の支援などに使われています。

防災教育 地域防災 プログラム



地域自治組織の活動に中学生の活動を組み込むことで、地域防災のノウハウの継承が図られます。

コミュニティ・スクール導入の取組経過

2009年(平成21年4月1日) まちづくり基本条例の制定
まちづくりは人づくりという考えのもと、市民協働によるまちづくりを進めるため、まちづくり基本条例を制定しました。

2011年(平成23年3月11日) 東日本大震災
◇震災後は地区が主体となって避難所を運営し、仮設住宅が完成する5か月間、住民の手でその役割を担いました。
◇その間、市職員は罹災証明書の発行や施設復旧に力を注ぐことができました。

2011年(平成23年12月26日) 復興まちづくり計画
復興のまちづくりの将来像の実現に向けた基本方針、分野・地区別取組を計画しました。

2014年(平成26年4月) コミュニティ・スクール導入促進事業調査研究
鳴瀬未来中学校にモデル校として、学校運営協議会を設置しました。

2015年(平成27年4月) モデル校であった鳴瀬未来中学校を初のコミュニティ・スクールに指定しました。

2016年(平成28年11月) 地域の学びシンポジウム
講師 CSマイスター 井上 尚子 氏(東京都) 以後継続して毎年研修会を実施しました。
2017年 CSマイスター 今泉 良正 氏(宮城県)
2018年 CSマイスター 安齋 宏之 氏(福島県)
2019年 CSマイスター 鈴木 廣志 氏(栃木県)
2020年 CSマイスター 野澤 令照 氏(宮城県)
※CSマイスター:文部科学省のコミュニティ・スクール推進員

2017年(平成29年3月)
コミュニティ・スクールリーフレット初版発行

2017年(平成29年3月)～2020年度(令和2年度)
東松島市復興教育振興基本計画
〈コミュニティ・スクールの全市的な推進〉

2017年(平成29年) 大塩小学校、鳴瀬桜華小学校、宮野森小学校、矢本東小学校に学校運営協議会を設置し、コミュニティ・スクールに指定しました。

2018年(平成30年) 矢本西小学校、大曲小学校、赤井小学校、赤井南小学校、矢本第一中学校、矢本第二中学校に学校運営協議会を設置し、市内のすべての小・中学校をコミュニティ・スクールに指定しました。